

新 柴田の 長心の 俊象 展

2024.
3.23^{SAT} - 6.23^{SUN}

休館日：月曜日及び祝日の翌日
※観桜会期間中（3月29日～4月14日）及び
ゴールデンウィーク期間は無休
開館時間：午前9時～午後5時
※4月1日～14日は午後7時まで延長開館
会場：小林古径記念美術館
入館料：一般510円（410円） / 小・中・高生260円（210円）
※（ ）内は20人以上の団体割引料金
幼児及び上越市内の小・中学生は無料
※障がい者手帳、ミライロID提示により入館料半額
※5月18日（土）は国際博物館の日を記念し入館無料

柴田長俊《迎火》（昭和54年）小林古径記念美術館蔵



祈りの心象 柴田長俊展

1949年（昭和24）上越市に生まれた柴田は、高校時代に柳田國男を耽読して民俗学に興味をもち、学生時代からインドやネパール、イラクを訪れ、その土地に根付く人々の生と死に関する信仰や祈りの姿を取材しました。1976年昭和51）に多摩美術大学大学院を修了すると第3回創画展に初入選にして創画会賞を受賞し、1988年（昭和63）に39歳で創画会会員に推挙されました。以降、柴田は創画会を中心に活動し、人間の生と死、中世ヨーロッパの「巡礼の道」、故郷・上越の自然風景など、生涯を通じて「祈りの風景」を描いてきました。

柴田は日本画家として活躍するほか、ステンドグラスのデザインを行うなど、2022年（令和4）1月に72歳で亡くなるまで多彩な創作活動を行いました。ステンドグラス作品は上越妙高駅を始めとする上越市内の公共施設に設置され、今も多くの方から親しまれています。

本展覧会では、当館所蔵の日本画及びステンドグラス作品を展示し、柴田に内在する「祈りの心象」を紹介します。



《星の夜―星への旅―》平成9年



《一華》



《遊動》平成3年



《天境》昭和62年



《翼雲》（久比岐野十二景）平成13年

会期中のイベント

学芸員によるギャラリートーク

- 日時 4月27日（土）午後1時30分～
- 5月25日（土）午後1時30分～
- 6月8日（土）午後1時30分～

美術館庭園&古径邸建築ツアー

日時 5月4日（土）午後2時～3時

新緑の美しい時期に合わせ、美術館庭園の散策と、古径邸の建築の見どころを紹介します。



国際博物館の日 入館無料

期日 5月18日（土）

国際博物館の日を記念して、施設の無料開放を行います。

交通案内

公共交通期間でお越しの場合

えちごトキめき鉄道「高田駅」から、徒歩約15分
「高田駅前案内所」から、バスにて「高田城址公園」下車、徒歩5分

車でお越しの場合

北陸自動車道 上越ICをおりて、国道18号線 鴨島立体
交差点右折、高田城址公園内（約15分）
上信越自動車道 上越高田ICをおりて、高田城址公園内（約10分）

※観覧会期間中（3月29日～4月14日）は高田城址公園付近の交通規制がありますので、美術館駐車場は使用できません。駐車場については、係員の指示に従ってください。



―次回展覧会のお知らせ―
なつかしき表紙絵 玉井力三展
2024年7月6日（土）
～9月1日（日）

学年誌や子ども向け雑誌の表紙絵画家として活躍した上越市出身の洋画家・玉井力三の作品を紹介します。